

	古賀市	豊中市
人口	59,234人 2019年3月末	406,155人 2019年3月31日
高齢化率	25.9% 2019年3月末	25.6% 2019年3月31日
自治会加入率		40.4% 2019年5月1日
校区福祉委員会		39校区 2019年4月1日
65歳以上単独世帯	7,310世帯 28.7% 2019年3月末	35,165世帯 19.8% 2019年6月30日
ひとり暮らし高齢者 登録者数		6,150人 2019年7月1日
避難行動要支援者名簿 地域提供同意者数		7,726人 2019年6月13日

豊中市の視察報告資料（奴間健司提供）
2019年10月29日 1/3

地域共生社会への新たなステージ

①一人も取りこぼさない
・・・SOSを出せない人に届く

②排除から包摂へ・・・総論賛成各論賛成へ

③支えられた人が支える人に

④全ての人に居場所と役割を
・・・それを支えるための丸ごと
断らない福祉
多機関協働
・・・福祉が町おこし
・・・社会的孤立への対応
世界で一番の孤立大国

豊中市社会福祉協議会のCSWの取り組み

2004年から地域福祉計画に位置付け

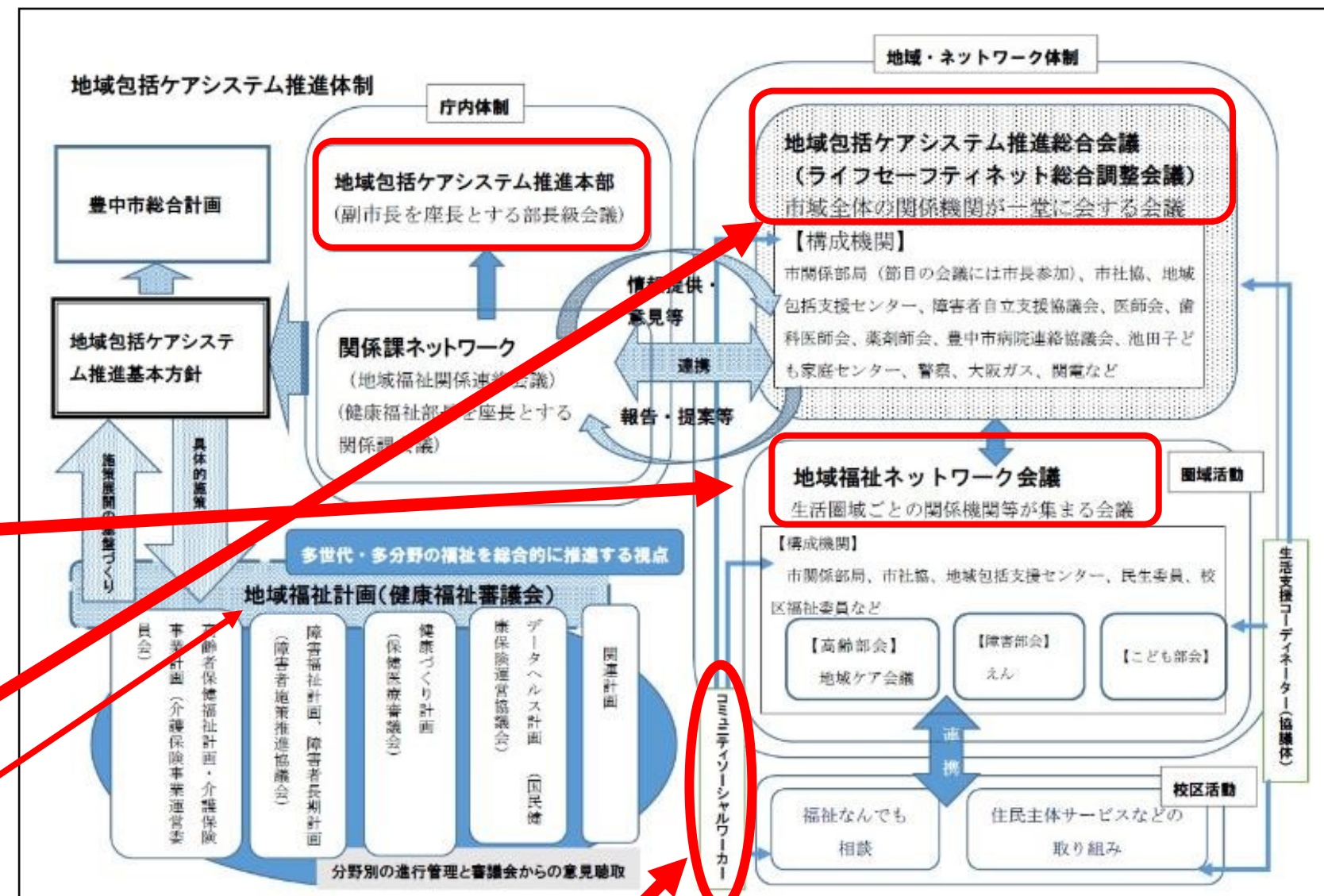
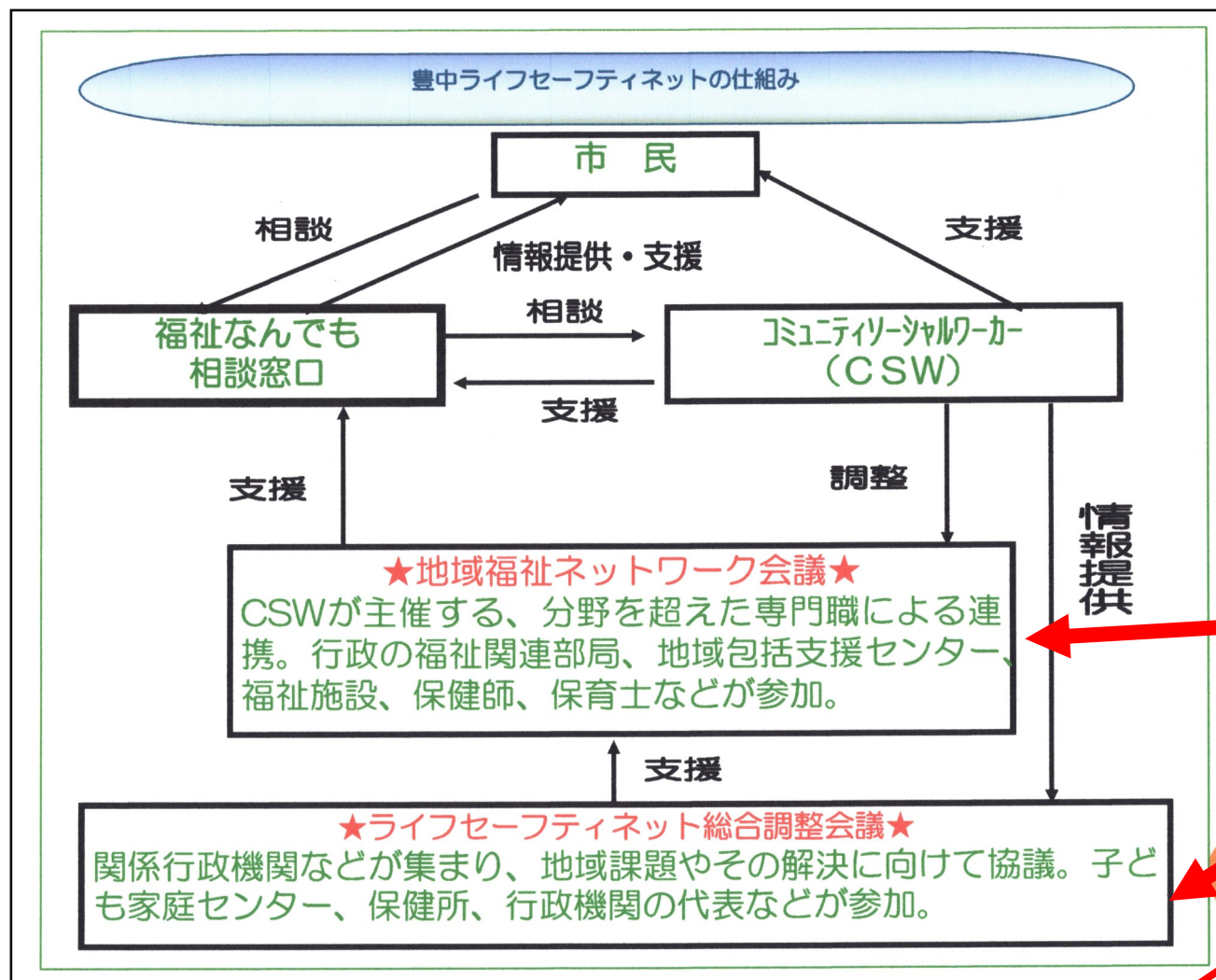
①制度の狭間から地域づくりへ

②住民と協働するワーカー

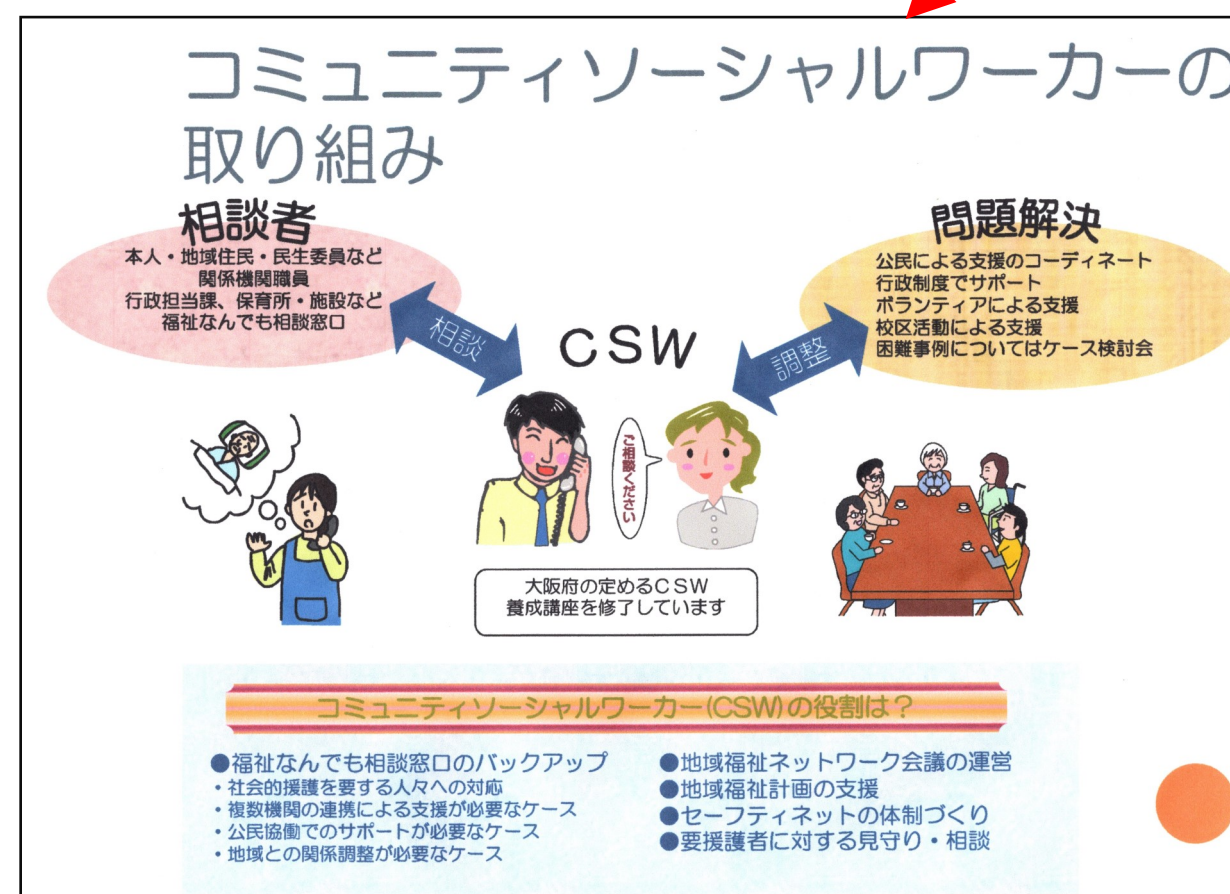
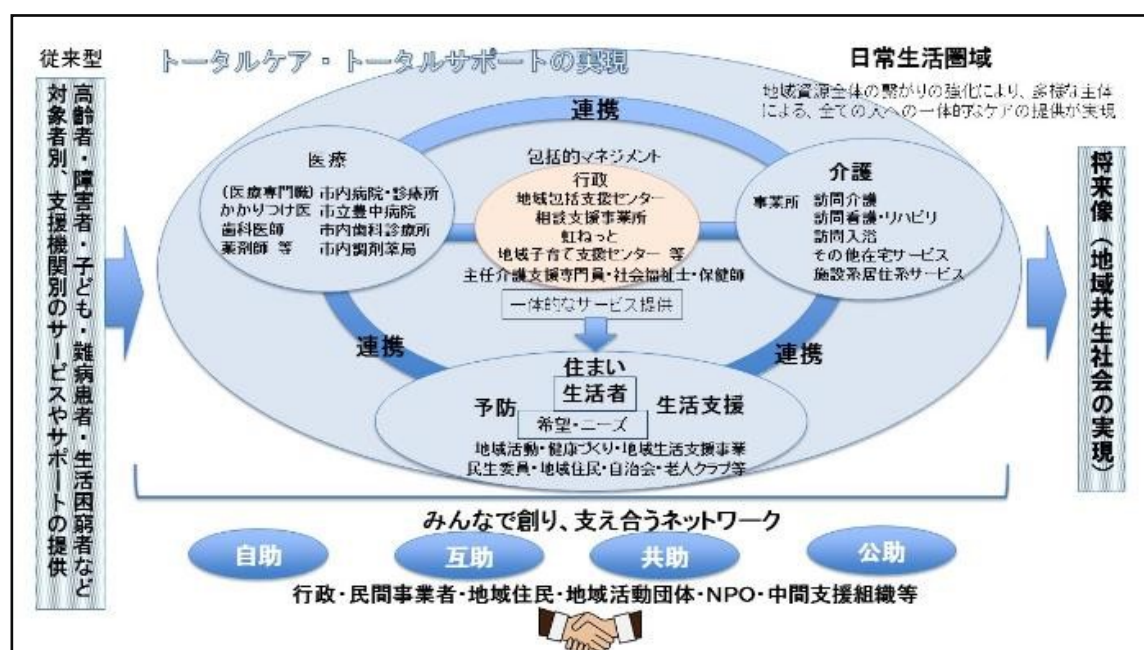
③ライフセーフティネットの仕組み

④プロジェクト会議（出口づくり）
総論賛成各論賛成 排除しない地域づくり
⇒個の課題から地域づくりを考える
ゴミ屋敷、子どもの貧困、ひきこもり
8050、アルコール依存、
刑余者などなど
社会的孤立へのアプローチ

	豊中市の社会福祉協議会の経緯
1983年・昭和58年	法人格取得
1987年・昭和62年	賛助会費導入
1992年・平成4年	校区ボランティア部会設置事業 福祉の店「なかま」設立
1995年・平成7年	阪神・淡路大震災
1996年・平成8年	小地域福祉ネットワーク活動開始 各校区で見守り・声かけ活動、サロン活動始まる
2001年・平成13年	介護相談員派遣事業開始
2003年・平成15年	健康福祉条例施行（地域福祉計画の策定義務）
2004年・平成16年	地域福祉計画を市と共同で作成 ※福祉なんでも相談窓口を各校区に設置 ※地域福祉ネットワーク会議 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置
2009年・平成21年	福祉公社と統合（社協職員は20人から500人） ※デイサービス、6ヶ所引き受ける 地域福祉権利擁護センター、地域福祉活動支援センター設置 厚生労働省モデル事業 安心生活創造事業開始
2011年・平成23年	パーソナル・サポート事業開始
2013年・平成25年	生活困窮者自立促進支援モデル事業開始（2014年）
2014年・平成26年 （7月放送）	NHKプロフェッショナル 仕事の流儀 勝部麗子 地域の絆で“無縁”を包む
2015年・平成27年	生活困窮者自立支援事業開始 「断らない福祉」 制度の狭間 寄り添うことと解決する力（行政の縦割り）
2017年・平成29年	生活支援コーディネーター事業受託開始
2018年・平成30年 （12月放送）	NHK 大阪北部地震 迅速な安否確認 その理由は 4時間で1万2000人 ボランティア8000人 地域の「男性パワー」「豊中めぐり」
2019年・平成31年	デイサービスを民間へ移す（職員は250人）



豊中市健康福祉条例
2003年4月施行

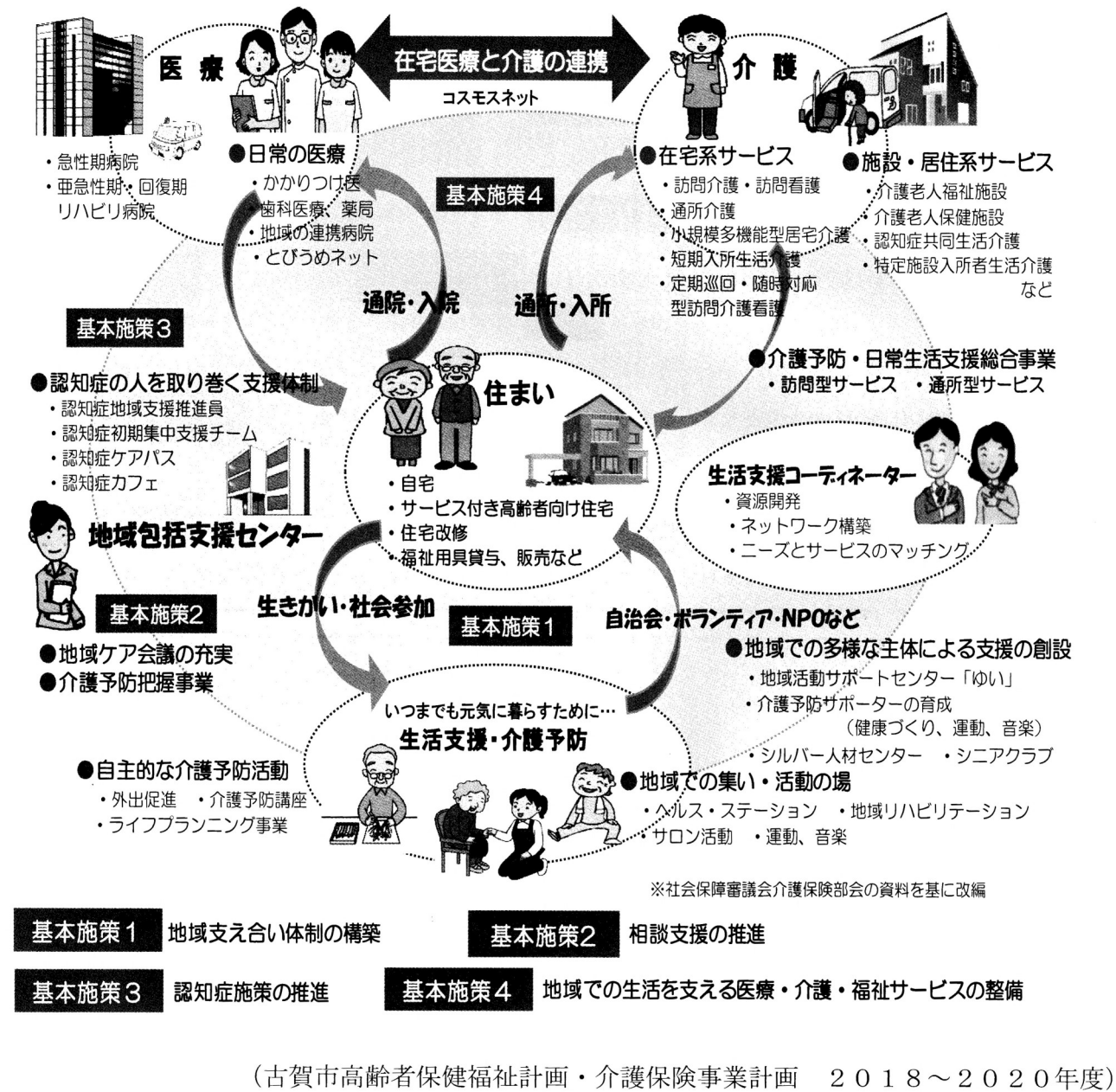


- ゴミ屋敷解決 550件
- ローラー作戦 年間 4000件
- 豊中あぐり 130人 6ヶ所の土地提供
- 格好良く地域に貢献 生産性の価値
- 2時間500円 若者ひきこもりサポート
- 内職広場

古賀市版地域包括ケアシステム

豊中市のライフセーフティネット総合調整会議や
地域福祉ネットワーク会議との比較から見えるものは？

【図表 3-1：古賀市版地域包括ケアシステム】



- ①誰が主催するのか？豊中市ではCSWが主催。
- ②市の基本方針は？豊中市では健康福祉条例
- ③市の推進体制は？豊中市では地域包括ケアシステム推進本部（副市長が座長）
- ④国の動向に従う？従来型発想が限界にきていることが、全ての課題の根底

豊中市の視察報告資料（奴間健司提供）
2019年10月29日 3/3

2023年までに古賀市が目指す

包括的な支援体制というが
市をあげての推進体制があるのか？

【図表 3-3：2017年に厚生労働省が示した市町村における包括的な支援体制のイメージ図】

